

解答

- 一
- 問一 ① 透明 ② 鮮(やか) ③ したく ④ 軒下
- 問二 ア
- 問三 竿に干された縮緬の色が薄く変わっていく(ようす)
- 問四 ウ
- 問五 呻吟(苦勞)
- 問六 ウ
- 問七 言葉にしたくないとき、直接それに触れない言葉を選ぶという言葉と感覚の微妙な操作。
- 問八 エ
- 問九 ウ
- 問十 悲しくてもアクが出るのは仕方がないことを納得し、草木のいろんな話を聞きたいという気持ち。
- 問十一 ア

二

- 問一 ① 危機 ② 再開 ③ 浴(びせ) ④ 報復
- 問二 1 ウ 2 イ
- 問三 ウ
- 問四 「ほかの人
- 問五 食べものや着るものに不自由しないゆたかさを追い求め手に入れたこと。
- 問六 ア
- 問七 a イ b エ
- 問八 戦後の食糧
- 問九 気持ちの深さ(を感じとること)
- 問十 自分
- 問十一 ア ○ イ ○ ウ ○ エ × オ ×
- 問十二 ア ○ イ × ウ × エ ○

解説

一

問四 本文のはじめに「つぎからつぎへと一瞬一瞬、微妙に色を変えて行く。目が離せない。……まるで桜が、いっしょうけんめい自分の物語を話そうとしているみたいだ。」という記述があります。後にある「雪のようにしんみりとした。」の部分や、「この桜はきつと」で始まる一文の内容から選択肢ウが最も適切です。

問七 「ああ、とようこは」で始まる段落に「離れ技」の内容が述べられています。「言葉と感覚の、そのような微妙な操作」という記述に着目し、「そのような」の指すことを説明しながらまとめます。

問十一 本文の中盤に、媒染をかけて色を出すことは、頼んで素性を話して貰うようなものであるという内容があります。また本文の後半にある「媒染を変えたら、出てくる物語も違うんだろか」、「じゃあ、いい色を出す媒染になりたいなあ。私、草木の、いろんな話が聞きたいなあ」という発言から、選択肢アが最も適切です。

二

問六 |線3の少し前にある「知る」ということの重い意味に着目します。「自分たちとは」で始まる段落の内容から選択肢アが適切です。

問十二 第一、二段落の内容から選択肢アは○になります。本文の最後にある「でも、わたしをふくめて」で始まる一文から選択肢イは×です。本文中盤の戦後の食糧難のときの描写に、「住んでいるかんきょうはちがつても、おたがいに苦しい生活を送る者同士であった」という記述があり、選択肢ウが×であることがわかります。本文後半の「暴力をふるわれたり、」で始まる段落から、選択肢エは○です。